



スピリチュアルケアの可能性

□ オンライン開催

死生学研究所ホームページから
お申込みください

□ お申込み締め切り

2022年2月16日(水) 17時

□ お問い合わせ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□ 先着 100名様

□ 参加費 無料

第8回連続講座

2月19日(土)

16:20-17:50

■プロフィール

本学人間科学部教授(倫理学・思想史)。
早稲田大学政治経済学部卒業。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得満期退学。早稲田大学教育学部助手、東京医科歯科大学教養部准教授を経て現職。日本生命倫理学会理事・事務局長。

■主要業績

『生命倫理の源流——戦後日本社会とバイオエシックス』(共著)岩波書店、2014年。

『生命倫理のフロンティア』(共著)丸善出版、2013年。

『生命倫理の基本概念』(共著)丸善出版、2012年。

『いのちの選択——今、考えたい脳死・臓器移植』(共編著)岩波書店、2010年。

『メタバイオエシックスの構築へ——生命倫理を問いなおす』(共著)NTT出版、2010年。

田中智彦

(たなかともひこ) 本学人間科学部教授

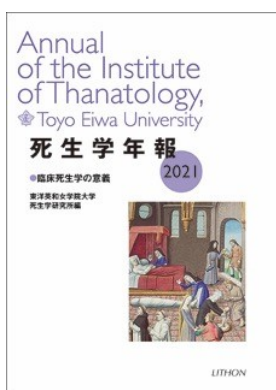
「死者を想う」ということ

——死生学についての覚え書

内容紹介：

「死を想え(memento mori)」と言われます。現代社会にはそのメッセージがあふれてもいます——メディアに、CMに、健康保険証の裏に。そして私たちは「死の準備」をすることを当たり前のように感じてしまいます。だからこそ今、あえてこう問いたいと思います——はたしてこうした風潮は、ひととして、また社会として、「よく生きる」ことにつながっているのだろうか、と。

「死を想う」ことは大事なことでしょう。しかし他方で、別の大事なことが見落とされているのではという疑念がぬぐえません。それは「死者を想う」ことではないだろうか——本講座ではそうした視点から、「当たり前」の一步先に越えて、私たちの生と死の実相とそれをめぐる現代社会の問題とについて考えてゆきます。



東洋英和女学院大学死生学研究所編 死生学年報2021

臨床死生学の意義

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます。

◆お問い合わせ先 東洋英和女学院大学 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

<予告>

◇2022年度 第1回<公開>連続講座 4月16日(土) 16:20~17:50
権藤恭之(大阪大学大学院人間科学研究科教授/臨床死生学・老年行動学)

お申込み

